

広報 妻籠宿



公益財団法人妻籠を愛する会

令和6年8月20日発行

No.151



(女滝)

今年は早くから日差しが強く、蒸し暑い日が多くなっています。和智埜神社の宵祭も酷暑と言っても過言ではない程の暑さの中、子ども神輿が宿場内を練り歩いてくれました。

こんな暑さの時は男滝・女滝で涼むのも良いですね。

「木曾路名所図会」では「雌雄瀑布」として紹介されています。挿絵にも描かれていて、旅人が道を行く姿もあります。当時から名所として寄る人の多い場所だったのでしょう。私の祖父が残してくれた昔話集にも、「昔、滝の近くに天狗が住むといわれる大木があって、景色の良さに旅の家族連れがひと休みしていたところ子どもが居なくなりました。結局見つからずじまいで『天狗にさらわれたんだ』という話が残っている」とあります。

水辺の涼しさと共に怖さも伝えるような話ですが、今の時代にも通じる教訓のようなものが感じられます。

小笠原 美雪

渡島 勝野 晋 一 郎

本年度より(公財)妻籠を愛する会評議員を務めさせていただきますことになりました勝野晋一郎です。

小学校のころ、通学にいつも見ていた妻籠宿ですが、今も変わることはない風景を見て、皆さんが努力をし、守ってきていると感じました。これから評議員として少しでもお役に立てるよう努めていきたいと思えます。よろしくお祈りします。

橋場 加藤 英 幸

橋場に住んでいます加藤です。

少し在郷になりますので、今までは、お祭りの実行委員の後、お宮の役員などで妻籠と関わってきました。

2年前より、宿場の駐車場で働くようになりました。今回初めて妻籠冬期大学講座に参加しました。妻籠や中山道の知らない事がまだまだあることに気付くことができる良い機会になり、よかったですと思いました。冬期大学は、長く続いている行事なので、これからも頑張ってお続けたいと思います。

駐車場にいますと、お客様のいろいろな意見を聞くことができます。「昔の姿の妻籠宿が大好きなので、頑張ってお残してもらいたい」とか、「食堂や食べ歩きのできる飲食店が少ないので、馬籠宿のように増やした方がいい」との言葉を聞きます。この前、越中おわらから来たおじさんと話をし、「若い人が宿場を守りたいと思えるような方法を見つけなければ」と言われ、その通りかと思いました。

下町 袖川 きよみ

この度、評議員となりました下町の袖川きよみです。

生まれも育ちも妻籠ですが、全国の先駆けとして昭和51年に妻籠宿が重要伝統的建造物群保存地区に指定された時は、何もわからないながらも、大変なことになったなという思いと同時に、こんな歴史的な場所に住んでいたのかと改めて感じたものでした。

それから半世紀近く経ち、時代も大きく変わった中、今も保存活動が継続され、またこれからも継続されていくことに、少しでも力になれたらと思っています。

どうぞよろしくお祈りいたします。

下町 磯村 琢 弥

今期から、評議員を務めることになりました。妻籠の地理や歴史には興味がありましたが、妻籠を愛する会の話になると「売らない、貸さない、こわさない」

ぐらしいか知識がなく、周りの人たちが理事や評議員の話をしていても、いまひとつ理解できませんでした。

令和4年から統制委員会のメンバーになったのですが、公益財団法人の仕組みというものをあまりわかっていませんでした。今度は評議員も兼ねるので、理解するために早速ホームページを開いて組織図、定款を見て勉強しています。

この広い重要伝統的建造物群保存地区を維持していくのは大変なことだと思います。どれほど広いか歩きまわっていますが、行ったことのない場所がたくさんあります。この保存地区はもっと色々な可能性を秘めていると思います。他の評議員の足を引っ張らないよう頑張ります。

恋野 鈴木 竜 行

今年度より評議員を務めることになりました鈴木と申します。今後ともよろしくお祈りいたします

さて、普段何気なく暮らしている妻籠宿ですが、まさに奇跡の観光地なのではないのかと思っています。善光寺の門前に栄えた門前町でもなければ、松本城の城下に栄えた城下町でもありません。ただここにあるのは何百年も間ほとんど変わることが無かった、時として神秘的にも見える中山道と何百年も前の町並みを変化させず頑なに保存し続けた宿場の町並みがあるだけです。

言ってしまうと、道と町並みがあるだけのこの場所に年間何十万という観光客が、とりわけここ数年は、外国人観光客の数が増大してきておりまさに世界的な観光地になっているのが現状です。まさに奇跡が起こっているといっても過言ではありません。もちろん単なる奇跡だけでここまで世界的な観光地になったわけではありません。そこには私たち住人が「妻籠宿を守る住民憲章」の名のもとに住みながらにして保存するというある意味矛盾しているかもしれない行為を徹底的に貫いた賜物こそが現在の妻籠宿なのだと思っています。

しかしながら美しい町並みの中にも雨戸を閉め切った空き家の数も相当数増えてきているのも現状です。そこには色々な要因が交錯しており大変難しい問題があります。ただ一つ思うのは、ある意味保存運動も過渡期が来ているのではないかということです。今一度ルールを見直してアップデートする時期が来ているのではないのでしょうか。売れないし貸せないから壊れてしまったという事には絶対できないと考えています。

まずは、正確に正しく理解することから始めていこうと思っています。

(公財) 妻籠を愛する会新役員名簿

〈理事会 (11名) 任期: 2年〉

理事長: 藤原義則

副理事長: 新井新作

常務理事: 横山純

理事: 松田智、今井好紀、原信之、今井啓文、

平田伊知郎、亀山和美、宮下朋之、松下達也

〈評議員会 (14名) 任期: 4年〉

勝野雅士、中坊健吾、勝野晋一郎、藤原崇道、

石垣八十志、木村和恵、鈴木竜行、磯村琢弥、

小笠原美雪、袖川きよみ、加藤洋子、

鈴木義幸、加藤英幸、藤原修司

・ 監事: 藤原啓喜、志水達也 (任期: 4年)

・ 参与: 伊藤寿子、藤原昭次、山下航

・ 顧問: 林茂、小林俊彦

【委員会構成】 ※◎委員長、○副委員長

〈総務委員会: 8名〉

◎今井啓文、○今井好紀、

松田智、加藤洋子、中坊健吾、藤原崇道、

加藤英幸、袖川きよみ

〈統制委員会: 7名〉

◎宮下朋之、○石垣八十志、

新井新作、磯村琢弥、勝野晋一郎、

横山純、下枝その子

〈文化広報委員会: 6名〉

◎原信之、○松下達也、

木村和恵、小笠原美雪、勝野雅士、

鈴木義幸

〈環境保全委員会: 12名〉

◎平田伊知郎、○郷原二三男、

藤原和年、亀山和美、藤原啓喜、鈴木竜行、

藤原修司、原 修己、伊藤龍太、窪美 靖、

熊谷純一、原 拓也



〈7.30 環境保全委員会: 外来植物除去作業〉

台湾歴史資源経理学会来宿

7月16日黄副秘書長ご夫妻が来宿されました。7年前丘秘書長と共に来宿以来のしばらくぶりの再会でした。来年台湾で全国町並み保存連盟の「台湾大会」を開催するので、その準備のためでした。妻籠宿の集落保存開始の頃の文献や写真を求められお渡ししました。小林前理事長、小笠原元理事長の家族との再会を果たし、喜んで帰国されました。

(理事長: 藤原義則記)

愛会空き家対策特別委員会からの報告

理事長 藤原義則

昨年5月の理事会で「空き家対策特別委員会」を立ち上げ、今年の6月までに5回の検討会が行われ具体的な案件もありました。

地区内の状況や、町の空き家バンク、支援策等検討会を行い対応を検討してきました。利活用に関しては種々難しい問題もありました。その中で「山森家住宅」を愛会が取得することが理事会の中で決まり、この6月に手続きが完了しましたので、報告します。

山森さんの意向もあり家屋山林を含め愛会が



〈山森家全景〉

末永く利活用することとなります。妻籠宿で最大級の家屋でありその利活用も委員会の中で検討していく予定です。具体的案件は当件のみです。

愛知県 さとうのりこ

愛知県から参加しました。まず、この大会を開催、運営された方々へお礼申し上げます。ありがとうございました。

宿場町を走れると、楽しみに当日を迎えました。JRで行きましたら南木曾駅の前にはかわいい猫が描かれたバスが待っていました。このバスからもうすでに期待が高まりました。(今回「なぎそねこ」を初めて知りました)

妻籠の町並みを眺めて走るって、しみじみすてきですね。ランと観光を両方楽しめる大会でした。沿道の応援はとてもあたたかく、観光客の方々からも声援をいただき、嬉しかったです。急な登り坂も元気に走りきることができました。宿場町と古道との心にしみるコースで、また来たいと走っている最中に思いました。

山に霧が昇っていく景色は美しく、雨の大会だったからこそ見ることができる風景でした。

ゴールしてからはしっかり妻籠の町を散策し、堪能しました。

地元の方々の尽力を感じるマラソン大会でした。一日楽しく過ごしました。またぜひとも参加したいです。



〈雨になんか負けないぞ！〉



〈姉妹で参加しました！〉



〈寺下を駆け抜ける〉

稲沢走友会 粕谷保

定年になって、何か運動を始めようと思いマラソンを始めました。最初の頃は、自分一人で練習をしていましたが、走友会があるのを知り仲間に入れてもらい、練習に励んで十数年になります。走友会に入って1年くらいで「この大会あるよ」と誘われ参加するようになり、現在ほとんど参加しています。会場が変わる前まで10kmを中心に参加していました。年齢と共に10kmはきつくなった時期に、コロナで中止になり、4年ぶりに開催された時に会場も変わってからは、気分転換して6kmに参加しています。

新緑の季節景観も良く、前半は、楽しみながら走る事ができ、妻籠宿、寺下、恋野の坂、陣屋太鼓の応援。後半は変化にとんだコースに苦しみながら山道を走りゴールした時の満足感。また来年も挑戦しようと思う気持ちになりました。コロナ時の中止以外はほとんど参加して、2、3人は入賞していましたが、今年は雨の中、6kmで7人が入賞することができ、仲間を誘って参加してよかったです。

この大会は、参加しやすい大会ですが、最近大会がなくなるケースが増えています。役員の方、ボランティアの方の苦労は大変だと思いますが、この大会が長く続くことを願っています。



← 稲沢走友会の皆さん ↓



〈さあ！出発だ！〉

週末ワークキャンプ in 妻籠 (4/27 (土) ~ 4/28 (日)) に参加して

尾又区 松下昇平

【奥ジャパン京都本社から参加した社員の感想】

4月27日(土)と28日(日)に奥ジャパン主催「週末ワークキャンプ in 妻籠」が開催されました。

私は、「妻籠城跡、中山道整備作業」と「オオハングソウ駆除」のボランティアの一部に2回ほど奥ジャパンの窪美さんのお誘いを受けて参加しています。今回の竹林の整備作業もお声をかけていただき、2日間参加する事となりました。

昨今、地方での過疎化高齢化にともない竹林の整備が行き届かなくなり、放置竹林の拡大による耕作地や家屋への侵入や根が浅い為に土砂災害の一因となり、問題となっています。私も自宅の庭にも侵入してとても困っています(汗)

妻籠宿周辺にも管理の行き届いていない竹林があり、今回は妻籠を愛する会所有の竹林へ横浜、愛知から来られたボランティアの方々4名、地元在住者4名、奥ジャパン京都本社から社員3名、妻籠支店の社員2名の総勢13名で2日間にわたり間伐整備作業を行いました。

作業は竹と竹の間隔が2メートル程になるように間伐を行い、間伐した竹の一部を使用して、一石立場茶屋で旅行者へ貸し出す杖を作りました。また、今年はタケノコが豊作でタケノコ掘り体験も行い、ボランティアの皆さんに好評でした。

1日目の夜は、妻籠を愛する会、藤原理事長と妻籠に関する勉強会と夕食兼交流会が催され、地元の方も後から数名参加されました。タケノコ料理、地酒等ふるまわれ、参加した皆さんとの交流も深まり、とても有意義な時間を過ごす事ができました。

2日目は2時間ほど整備作業とお土産にするタケノコ掘りを行いました。昼食後、一石立場茶屋へ杖を運び、藤原理事長の一石立場茶屋についての講義と今回のボランティア反省会、男滝女滝散策をして解散となりました。

ボランティア活動も大事ですが、参加した皆さんとの交流も色々な考えに触れる事ができ貴重な経験となりました。ぜひ皆さんも次回のワークキャンプに参加してみたいかでしょうか？



Luke ルーク

I loved having the opportunity to be of use to the community in Tsumago, everyone I met was incredibly friendly and welcoming. While it was tough work after some time, it was really rewarding to see our efforts paid off by the forest becoming clearer and neater. Meeting the locals, making soba and collecting Takenoko won't be something I will soon forget.

妻籠のコミュニティに役立つ機会ができて、とてもうれしかったです。出会った人たちは皆、信じられないほどフレンドリーで歓迎してくれました。大変な作業でしたが、努力が実を結んで、森がきれいになっていくのを見られたことで本当にやりがいを感じました。地元の人々との交流、そば打ち、タケノコを掘ったことも忘れられない思い出です。

Alessia アレッシア

It was a great experience and I am glad I did it. I felt useful and honored to help the friendly locals and sharing this experience with other volunteers was lovely. Working all together was fun and I learned many new things!

素晴らしい経験でしたし、参加してよかったです。フレンドリーな地元の人々を助けることができ、役に立っていると感じましたし、光栄に思いました。他のボランティアとこの経験を共有できたのも嬉しかったです。みんなで協力して働くのは楽しかったし、たくさんの新しいことを学びました！



宿場 暦

- 5月 8日：木曾地域観光ガイド代表者会議（案内人の会：2名）、撮影許可審議委員会
 9日：妻籠地区地域振興協議会総会（理事長）
 10日：三役会、理事会
 14日：妻籠観光協会三役会（常務）、撮影許可審議委員会
 16日：妻籠宿案内人の会総会・学習会、撮影許可審議委員会
 20日：統制委員会、広報150号発行、木曾風景街道推進協議会役員会（広域・理事長）
 21日：(株)毎日映画社撮影（23日まで）
 23日：木曾広域ケーブルテレビ撮影、フィールドデザイン撮影
 24日：國學院大學観光まちづくり学部：妻籠についての講演（横浜市・理事長）
 25日：上伊那観光 PR イベント（宿場内）
 26日：上伊那観光 PR イベント
 （一石栃立場茶屋）
 29日：評議員会、南木曾町リニア中央新幹線対策協議会（欠席）
 30日：日本ナショナルトラスト協会理事会
 （理事長）
- 6月 2日：第42回南木曾町・妻籠健康マラソン
 4日：理事会
 6日：妻籠宿連絡調整会議（理事長・常務）、観協五月人形片付け（常務）
 7日：撮影許可審議委員会、テレビ信州撮影
 16日：令和6年度第1回観光地点パノラマ調査
 13日：評議員会、撮影許可審議委員会
 14日：日本ナショナルトラスト協会総会
 （理事長）
 17日：撮影許可審議委員会、テレビ東京撮影
 18日：インバウンド講演会（木曾町・2名）
 20日：統制委員会、一石栃立場茶屋作業（5名）
 21日：広報部会
 23日：テレビ東京撮影
 25日：木曾風景街道推進協議会総会
 （妻籠宿・6名参加）
 26日：一石栃水源倒木処理（3名）、フジテレビ撮影（～28日）
 27日：妻籠地区地域振興協議会役員会（理事長）
- 7月 1日：南木曾町内トンネル工事進捗および今後の見通しに関する説明会（JR 東海）
 2日：KISO 未来塾（合庁・理事長）
 3日：NTT 東日本ミライ研究所視察
 8日：三役会
 9日：豊かな環境づくり木曾地域会議総会
 （合庁・理事長）
 10日：撮影許可審議委員会
 16日：台湾歴史資源経理学会黄氏来宿

景観保持のため、宿場内での路上駐車はやめましょう！

- 17日：令和6年度木曾地域文化遺産活性化協議会総会（木祖村・理事長）、南木曾町リニア中央新幹線対策協議会（理事長・常務）
 22日：統制委員会
 23日：和智楚神社祭礼（～24日）
 25日：名工土木城山整備作業
 26日：広報部会
 29日：妻籠宿看板検討グループ会議（常務）
 30日：オオハンゴンソウ除去作業
 （環境保全委員会・妻籠観協）
 31日：信州歴史的まちなみフォーラム打ち合わせ（千曲市・理事長）

統制委員会審議事項

- 5月20日
 ・仮設事務所設置（第3駐車場：世紀東急(株)） 1件
 ・流出路面埋め戻し等（柵形：教委） 1件
 ・群状択伐（妻籠地区：関電） 6件
 ・雨樋・破風板補修工事（中央駐車場） 1件
 ・自販機設置（256号沿）条件付認可 1件
- 6月20日
 ・樹木伐採（尾又区） 1件
 ・開閉器の取替（恋野：中電） 1件
 ・引込線新設（細野山：中電） 1件
 ・観測井及びモノレール設置
 （下り谷：尾越トンネル JV） 1件
 ・外壁塗装（下町：個人） 1件
 ・電柱建替え工事（橋場他：(株)TOSYS） 1件
 ・排水側溝新設・撤去及び砂利敷き
 （尾又：関電） 1件
 ・群状択伐（関電：妻籠地区内） 5件
 ・立木伐採（寺下延命地藏前：教委） 1件
- [その他]
 ・防護柵の設置（第1P）：工期延長 1件
- 7月22日
 ・道路法面の立木伐採及び枝払い
 （橋場：建設業協会） 1件
 ・配電線設備の保安伐採
 （吾妻橋・細野山：中電） 2件
 ・引込線撤去（尾又：中電） 1件
 ・仮設電源用電線設置（変更）（吾妻橋：関電） 1件
 ・群状択伐（妻籠地区：関電） 5件

【統制委員会からのお知らせ】

重伝建地区内で家屋の修繕等を行うときには、事前に統制委員会への届出が必要となります。申請用紙は愛する会にあります。

また、補助金が出る場合もありますので、町教育委員会又は愛する会事務局にご相談ください。

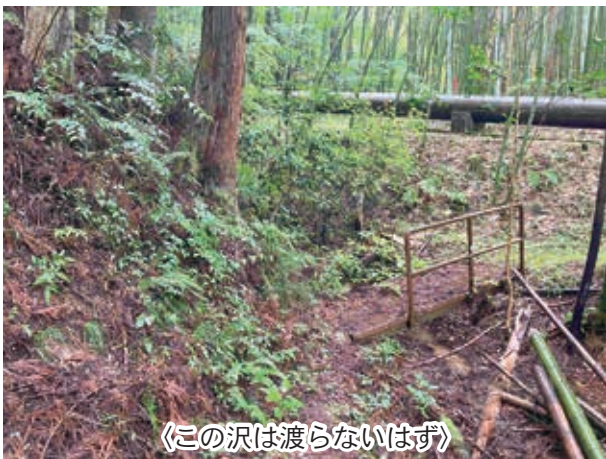
発行：公益財団法人妻籠を愛する会
 〒399-5302 長野県木曾郡南木曾町吾妻2159-2
 TEL:0264-57-3513 (FAX兼用)

下町 磯村 琢 弥

今回は尾又のおしゃごじ様横から小高取へ向かいます。僕が小学生の頃は、発電所の水管の階段横は竹藪だったと思います。久しぶりにこの場所を訪れると、立派な道ができていて驚きました。地図では竹藪に入るとぐねぐねと曲がっていますが、今の道は、ほぼ一直線です。ただし、木や竹が倒れていて簡単には歩けません。コンクリートの階段が終わると沢を渡ることになるのですが、地図では沢を右手に平行に歩いて軽便道方向へ向い、沢のほうは右に曲がって道から離れていくことになっています。一本目の沢は下に砂防堰堤があり、山も崩れていて平行には歩けません。二本目の細い沢にも道は見当たりません。おそらく道は消えてしまったのでしょうか。



《昔は竹藪だったはず》



《この沢は渡らないはず》

ここまで上ると、もう一本の水管に着きます。目の前に水管を跨ぐための橋が現れますが、おそらく道はもう一つ上にある橋の近くだと思われます。上の橋は小高取側にある道と繋がっている位置にあるからです。水管を越えると車庫が見え、その横を歩いて杉の木が並ぶ場所を過ぎると、三叉路になります。一本は初期の大井水方向、もう一本は第三駐車場方向です。後者はさらに分岐して一本が橋場バス停へ向かいます。

大井水方向は途中から地番が入り個人の土地になっているようですが、土地の形が道に見えます。この道は伊那道なのでここまで上ってきたら、大井水沿いに続いていて最終的に舟ヶ島に着きます。伊那道は初期の大井水を通した時に水路になってしまったのでしょうか。

とりあえず今回は三叉路を右へ曲がり第三駐車場の横断歩道へ向かいます。少し歩くと道が崩れ、手作りの橋が架かっています。これを渡るとはっきりとした道はなく、地図上の道がどこを通っているのかわかりませんが、畑の一番奥に馬頭観音が二つあるので、ここの前を通るような気がします。先へ進むと256号線に出るのですが、崖になっていて進めません。



《道は、もう一つ上の端あたりかな?》



《ここを抜けると三叉路になります》



《道は馬頭観音前なのか?》

次回は橋場バス停と大高取の馬頭観音までを調べます。